

## 期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 6月11日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 佐藤実玖

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

### 記

入札期間	令和 8年 6月25日から 令和 8年 7月 2日まで
開札期日	日 時 令和 8年 7月 9日 午前 9時30分 場 所 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 7月23日 午前 9時50分 場 所 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 8年 6月11日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 1 所 在 小林市南西方字熊迫  
地 番 134番45  
地 目 宅地  
地 積 190.90平方メートル
- 2 所 在 小林市南西方字熊迫 134番地45  
家屋 番号 134番45  
種 類 居宅  
構 造 木造セメント瓦葺2階建  
床 面 積 1階 79.15平方メートル  
2階 29.41平方メートル
- (現況)
- 床 面 積 1階 概測86.53平方メートル  
2階 29.41平方メートル

## 物 件 明 細 書

令和 8年 5月22日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 佐藤実玖

---

---

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

---

---

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

---

---

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

---

---

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件債務者が占有している。

---

---

5 その他買受けの参考となる事項

なし

### 《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ

- ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
  - 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、BIT（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

## 物 件 目 録

- 1 所 在 小林市南西方字熊迫  
地 番 134番45  
地 目 宅地  
地 積 190.90平方メートル
- 2 所 在 小林市南西方字熊迫 134番地45  
家屋 番号 134番45  
種 類 居宅  
構 造 木造セメント瓦葺2階建  
床 面 積 1階 79.15平方メートル  
2階 29.41平方メートル
- (現況)
- 床 面 積 1階 概測86.53平方メートル  
2階 29.41平方メートル

令和8年(ヌ)第10号  
令和8年3月23日受理  
令和8年4月10日提出

## 現況調査報告書

宮崎地方裁判所  
執行官 佐藤 浩二

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- |   |                           |                       |  |
|---|---------------------------|-----------------------|--|
| 1 | 所<br>地<br>地<br>地          | 在<br>番<br>目<br>積      | 小林市南西方字熊迫<br>134番45<br>宅地<br>190.90平方メートル  |
| 2 | 所<br>家屋番<br>種<br>構<br>床面積 | 在<br>号<br>類<br>造<br>積 | 小林市南西方字熊迫 134番地45<br>134番45<br>居宅<br>木造セメント瓦葺2階建<br>1階 79.15平方メートル<br>2階 29.41平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	「住居表示未実施」
土地	物件1
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input type="checkbox"/> 公衆用道路 <input type="checkbox"/>
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある
その他の事項	・本土地の南側は市道(写真①、②)に接する。 ・従物等としてカーポート(写真①、⑰、⑱)・祠(氏神様、写真⑲)が存在する。
建物	物件2
種類、構造及び床面積の概略	<input type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる( <input checked="" type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類： <input type="checkbox"/> 構造： <input checked="" type="checkbox"/> 床面積：1階 概測約86.53平方メートル【未登記増築部分(概測約7.38平方メートル)】
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある { 種類： 構造： 床面積：
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が、本建物を居宅として占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)
その他の事項	・1階南側にはサンルーム(未登記増築部分)がある(写真⑬、⑭)。 ・太陽熱温水器(写真①)、据置型物置(写真⑯)、下屋及び物置(東面に壁のない工作物、写真⑮)がある。
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない
土地建物の位置関係	<input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「」の箇所の記載のとおり  
(2枚目)

(関係人の陳述等・執行官の意見用)

関係人の陳述等	
陳述者(当事者との関係)	陳述内容等
■小林市役所建設課担当者	・物件1土地の南側に接する道路は、市道孝ノ子団地1号線になります。
■A(債務者)	・私は、本件物件に一人で居住しています。 ・物件2建物の不具合としては、建て付けが悪い箇所があるほか、くれ縁側の廊下の床板の剥がれや雨漏りと思われる箇所があります。約1年前に台所の流し台の水漏れがありましたが修理しています。 ・物件2建物内で柴犬1匹を飼っています。 ・太陽熱温水器を設置していますが、現在は壊れていて使用していません。 ・物件1土地東側には氏神様を祀っています。 ・土地の境界につき、争い等はありません。
執行官の意見	
<p>1 物件1土地の全部は物件2建物の敷地となっている(土地建物位置関係図)。同土地(駐車場部分を除く。)は市道との高低差が約0.5ないし0.7メートルあり、ほぼ平坦な画地である(写真①、②)。</p> <p>2 境界については、境界標、市道との利用状況及びブロック積み等で区分され概ね確認できる。</p> <p>3 物件2建物につき、経年相応の劣化等が認められる。外壁塗装の剥がれ、屋根瓦の劣化が見られ、内観は、くれ縁床板の剥がれ(写真⑦)・軋み・撓み及び擦れ、同縁天井部分の雨漏り跡(写真⑥)、並びに内壁のキズ、シミ、畳の擦れ、台所・廊下床の軋み等を確認した。また、門扉周りの塀等部分のヒビ割れ(写真⑳)、カーポート屋根部分の破損(写真⑱)、同支柱の屈曲を確認した。</p> <p>なお、上記建物のシロアリの被害は不明である。</p> <p>4 本件物件の占有関係は、Aの陳述、関係資料及び現場の状況等から、2枚目記載のとおり認めた。</p> <p>5 物件1土地の隣接道路につき、登記記録を調査し、物件1土地の南側に接する目的外土地(134番1)の地目は「公衆用道路」、所有者は「小林市」であることを確認した。</p>	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
(3枚目)

(調査経過用)

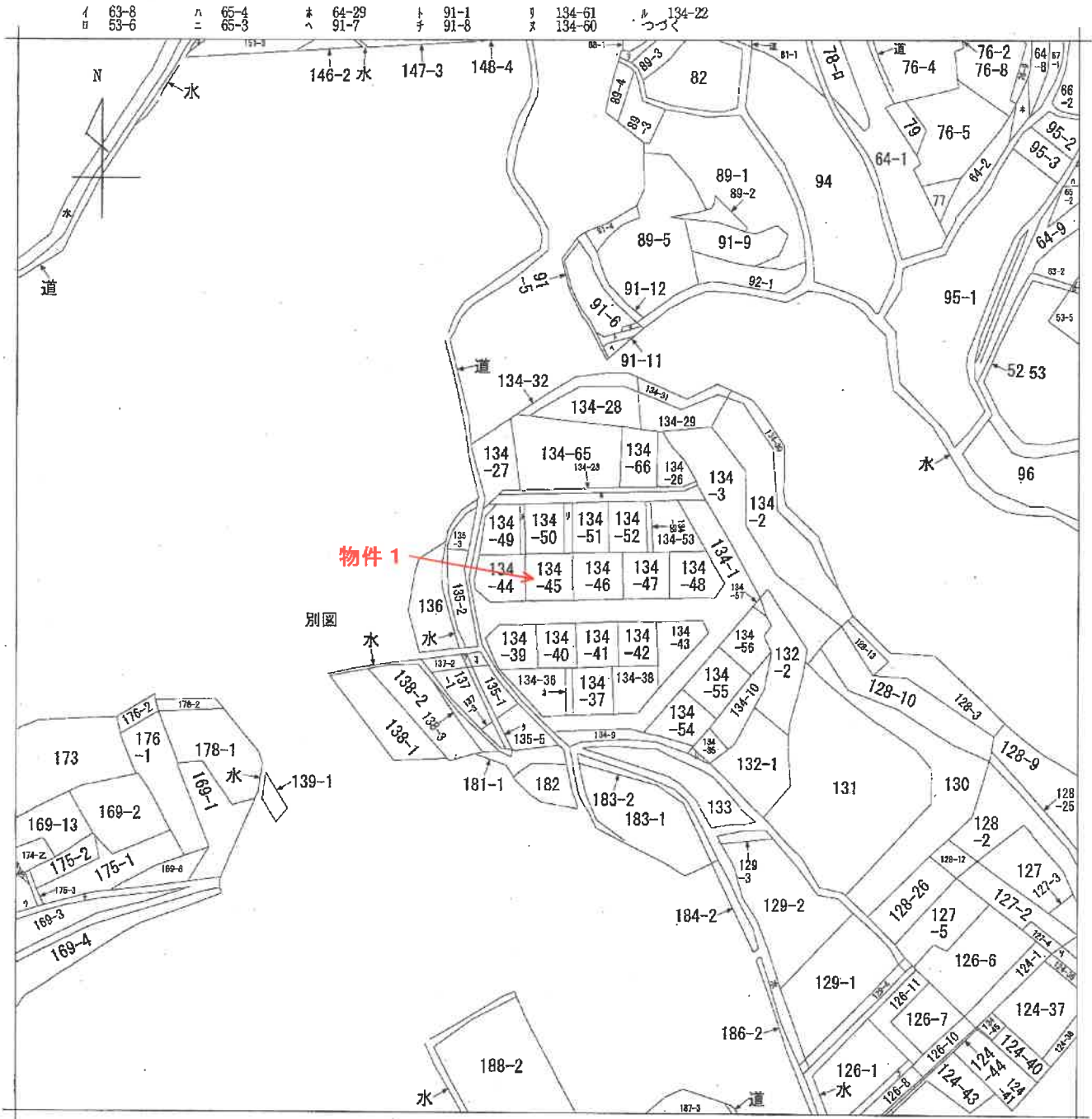
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年3月26日 13:00-13:10(10)	宮崎地方法務局小林出張所	■底地調査 ■公図(白地)・建物図面(白地)・隣接地登記簿取得 <input type="checkbox"/>
令和8年3月26日 13:20-13:40(20)	小林市役所	■建物間取図・公課証明書・航空写真(重ね図)・地番図取得 <input type="checkbox"/>
令和8年3月26日 14:00-14:40(40)	物件所在地	■現場所確認・占有調査 ■外観写真撮影 ■不在通知書投函 <input type="checkbox"/>
令和8年4月2日 16:10-17:30(80)	物件所在地	■評価人同行 ■立入調査・写真撮影等 ■A立会(同人から聴取) <input type="checkbox"/>

(特記事項)

- 令和 年 月 日  
目的物件は不在で施錠されていたため、立会人を立ち合わせ技術者に解錠させて執行した。
- 令和 年 月 日  
休日・夜間執行許可の提示をした。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
(4枚目)

# 公図写し

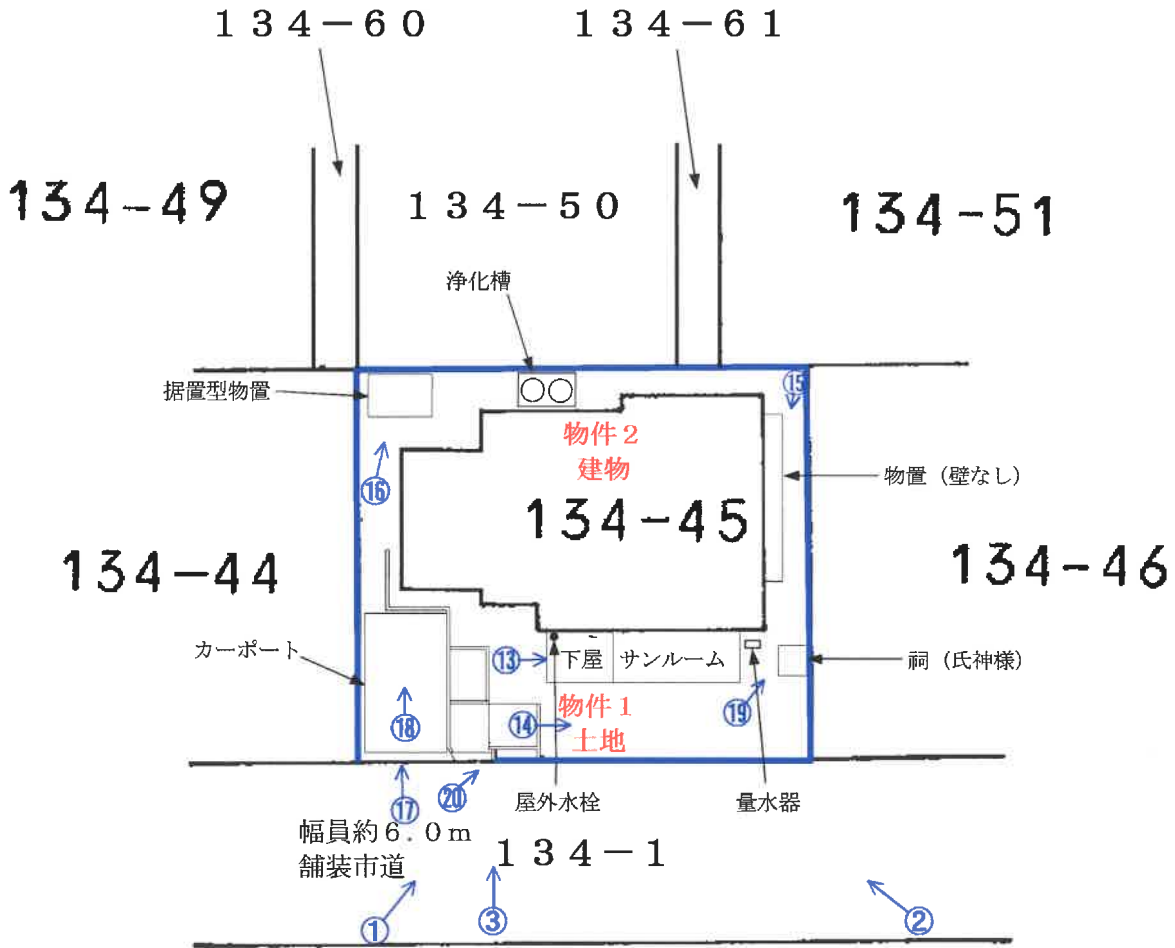


A 大字南西方  
 B 大字南西方  
 C 大字南西方  
 D 大字南西方  
 E 大字南西方  
 F 大字南西方  
 G 大字南西方  
 H 大字南西方  
 つづく

請求部	所在	小林市南西方字熊迫			地番	134番45		
出力縮	縮尺不明	精度分	座標系又は番号は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)			補記事項	

凡例

…ブロック等



写真撮影位置・方向○→

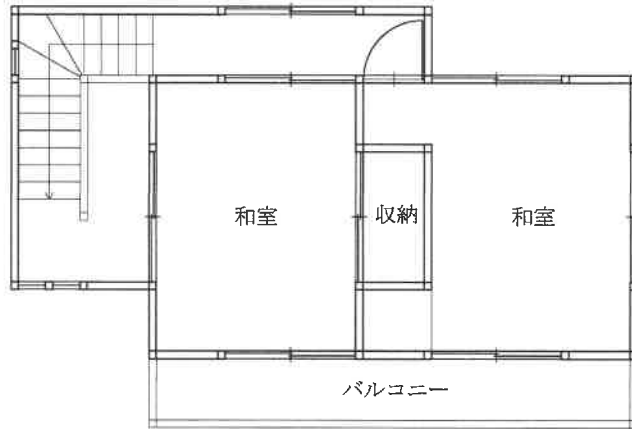


縮尺：1/250

土地建物位置関係図

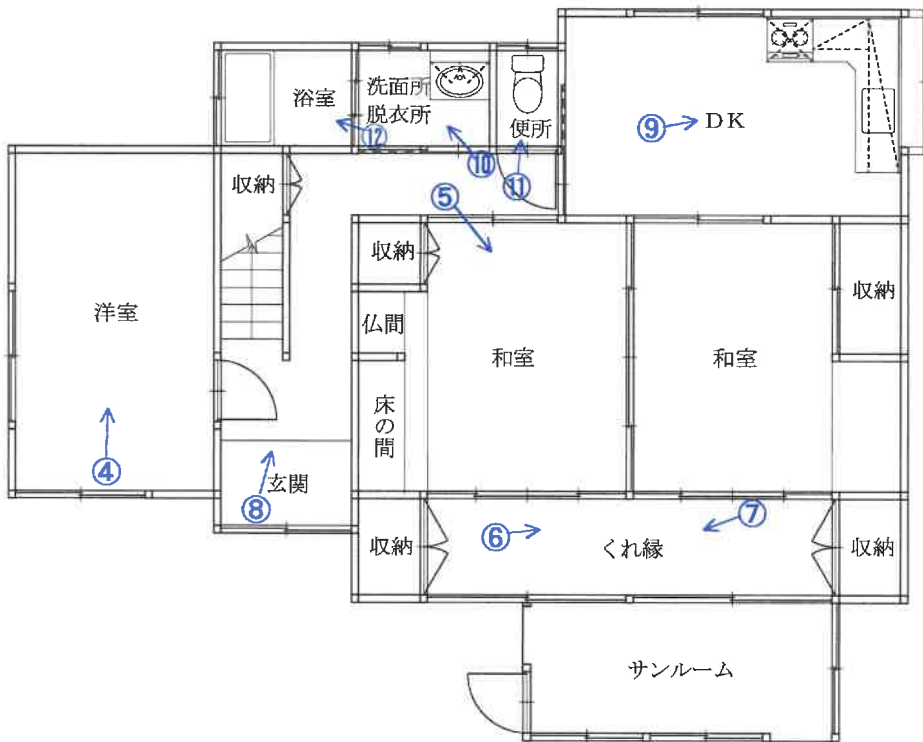
※本図は、土地・建物等の位置を概略的に示したものであり、境界等を確定するものではない。

(6枚目)

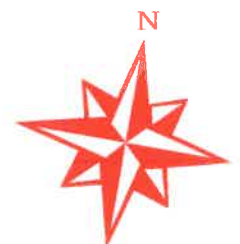


2階

物件2  
建物



1階



写真撮影位置・方向○→

縮尺：1/100

間取図

(7枚目)

写真①

物件2建物

太陽熱温水器

カーポート

物件1土地

市道



南側

写真②

物件2建物

市道



南東側  
(8枚目)

写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

雨漏り跡  
の状況



写真⑦

くれ縁  
床板の  
状況



写真⑧



写真⑨



写真⑩



写真⑪



写真⑫



写真⑬

未登記  
附属建物  
(サンルーム)



写真⑭

未登記  
附属建物  
(サンルーム)



写真⑮



物置 (壁なし)

写真⑯



据置型物置

写真⑰



カーポートの状況

写真⑱

カーポート  
屋根の状況



写真⑲

祠(氏神様)



写真⑳

門扉付近の  
状況



令和 8年(又)第 10 号

令和 8年 4月 2日現地調査

令和 8年 4月 21日評 価

現況調査担当 佐藤 浩二 執行官

宮崎地方裁判所 御中

# 評 価 書

評 価 人 不動産鑑定士

黒 木 勇 人

## 第1 評価額

一 括 価 格		
	金	434,000 円
内 訳 価 格		
物件1 (土地)	金	279,000 円
物件2 (建物)	金	155,000 円

### 【付記事項】

- 1 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

## 第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。  
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

### 第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在地目地積	小林市南西方字熊迫 134番45 宅地 190.90㎡	登記記載のとおり
2	所在家屋番号種類構造床面積	小林市南西方字熊迫134番地45 134番45 居宅 木造セメント瓦葺2階建 1階 79.15㎡ 2階 29.41㎡	未登記な増築部分（1階部分概測7.38㎡）がある。なお、その他は登記記載のとおり。 1階 86.53㎡
番号	特記事項		
2	1階南面に未登記な増築部分（サンルーム）がある。		
番号	住居表示		
	住居表示未実施		

## 第4 目的物件の位置・環境等

### 1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR吉都線「小林」駅の北西方・道路距離約2.2km 小林コミュニティバス「板橋」停留所の南方・道路距離約270m (附属資料「位置図」参照)			
付近の状況	農地が広がる中に戸建住宅が連たんする小規模分譲地地域			
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	非線引き都市計画区域		
	用途地域	用途地域の指定はない		
	建ぺい率	70%		
	容積率	200%		
	防火規制	-		
その他の規制	開発許可に伴う諸規制あり(特記事項参照)			
画地条件	地積	190.90㎡		
	間口・奥行	約14.7m・約13m		
	形状	長方形		
	境界等	地積測量図が備わり、同図上では確認できる。 現地にて、南西端・南東端以外に境界標は残置しないものの、外周隣接地とはブロック積、道路等で区分されていることから、外周隣接地との境界は概ね明確である。		
	その他	全体として地勢は概ね平坦である。なお、敷地内南西端の駐車スペースに比して、他の部分は約0.5～0.7m高い。		
接面道路の状況	南側で幅員約6m舗装市道に概ね等高～約0.7m高く接面する中間画地			
土地の利用状況等	物件2建物(居宅)の敷地として利用されている。 その他の詳細については「現況調査報告書」記載のとおり			
供給処理施設		前面道路の敷設	目的物件への接続	備考
	上水道	あり	あり	
	下水道	なし	なし	
	都市ガス	なし	なし	
災害等の危険性	津波ハザード	なし	国土交通省 重ねるハザードマップ(評価時点)	
	洪水ハザード	なし		
	高潮ハザード	なし		
	土砂災害警戒区域等	なし	宮崎県土砂災害警戒区域等マップ(評価時点)	
	その他	なし		
埋蔵文化財の有無及びその状態	小林市社会教育課への聴取による限り、周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しない。			
土壌汚染の有無及びその状態	過年度の住宅地図・登記簿による地歴調査及び目視可能な範囲での調査による限り、土壌汚染の可能性を疑わせる端緒は確認できなかった。			

(前頁より続く)

特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"><li>・敷地内南東寄り付近には祠（氏神様、工作物）、北西端付近には据置型物置、南西端付近にはカーポートが存する。</li><li>・宮崎県小林土木事務所への聴取によれば、物件1土地を含む周辺は開発許可を受けており、当該開発許可に伴い、都市計画法第41条第1項に基づく諸規制が定められているとのことである。その概要等は以下のとおり。なお、詳細は同事務所に再確認すること。<ul style="list-style-type: none"><li>①開発許可年月日：昭和55年3月14日</li><li>②許可番号：シレイ第284-9.7号</li><li>③用途規制：専用住宅</li></ul></li><li>・その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。</li></ul>
---------	---

## 2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主たる建物	
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：昭和57年5月10日新築 経過年数：約44年 経済的残存耐用年数：0年（経済的耐用年数超過）	
仕 様	構 造	木造
	屋 根	セメント瓦葺
	外 壁	リシン吹付、タイル貼ほか
	内 壁	砂壁、クロス貼、プリントボードほか
	天 井	板貼、クロス貼、プリントボードほか
	床	畳、フローリングほか
	設 備	電気設備、給排水・衛生設備
床面積（現況）	延115.94㎡ 登記記載のとおり	
現況用途等	現況用途：住宅 間取り：5DK（詳細は「間取図」参照）	
品 等	普通	
保守管理の状態	経年相応の物理的な損傷・摩滅等に加え、以下の事項が認められる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内のフローリング・畳の擦れが著しい。特に1階くれ縁部のフローリングは表面の剥がれが多数見られるほか、床板の沈み込みが感じられる部分もある。</li> <li>・1階くれ縁部の天井に雨染み（雨漏り跡）が複数見られる。</li> <li>・屋内でペット（犬1匹）を飼育している。</li> <li>・屋根瓦の劣化が著しく、表面塗装の剥がれが多数見られる。</li> <li>・門扉周りの内塀にクラックが見られる。</li> <li>・カーポートの屋根の一部が破損している。</li> </ul> 以上より、保守管理の状態は劣る。	
建物の利用状況	占有状況は「現況調査報告書」記載のとおり。	
特 記 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ、現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。</li> <li>・物件2建物の南面には下屋、東面には物置（東面の壁がない工作物）が存する。</li> <li>・物件2建物の南面には未登記な増築部分（サンルーム）が存する。</li> <li>・物件2建物の屋根上には太陽熱温水器が存する。なお、所有者への聴取によれば、故障しており、現在は未使用とのこと。</li> <li>・その他の事項は「現況調査報告書」記載のとおり。</li> </ul>	

## 第5 評価額算出の過程

### 1 基礎となる価格

#### (1) 建付地価格 (物件1)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	11,600	1.00	190.90	1.00	2,214,000

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価調査 公示地 小林-1

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格  
 $14,600\text{円}/\text{㎡} \times 100/100 \times 100/100 \times 100/126 \div 11,600\text{円}/\text{㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：なし 相乗積1.00

◇地域格差：街路-3%、環境+30% 相乗積1.26

イ 個別格差：なし 相乗積1.00

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

#### (2) 建物価格 (物件2)

目的建物 (カーポート等を含む) の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建 物 価 格 (円) ア×イ×ウ
2	170,000	115.94	0.01	197,000

ウ 現価率

・経済的耐用年数を相当に超過していることを踏まえ、0.01と査定した。

## 2 評価額の判定

前記により求めた価格（建物価格）に、土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

### (1) 土地利用権等価格

番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ	及ぶ範囲 ウ	土地利用権等価格(円) ア×イ×ウ
1	2,214,000	0.30	法定地上権	664,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権等を法定地上権と判定し、その割合を30%と査定した。

### (2) 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる 価格(円) ア	土地利用権等 価格の控除 及び加算(円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額(円)  (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	2,214,000	-664,000		0.30	0.60	279,000
2	197,000	+664,000	1.00	0.30	0.60	155,000
一括価格（合計）						434,000

ウ 占有減価修正：占有状況より必要なしと判断した。

エ 市場性修正：以下の理由により、市場性が劣る（需要者が相当に限定される）と判断した。

- ①建物について、経済的耐用年数超過後、さらに相応の期間が経過し老朽化等が進んでいる。
- ②雨漏れが疑われる箇所に加え、汚損・破損箇所等も多く見られ、保守管理の状態も劣ること。
- ③屋内でペットを飼育していること。
- ④敷地内に祠があること。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

## 第6 参考価格資料

### 1 標準画地価格の査定

公示価格(小林-1)

所在地: 小林市細野字中ノ原1270番2

価格: 14,600円/㎡

位置: JR吉都線「小林」駅約1,100m

価格時点: 令和8年1月1日

地積: 394㎡

供給処理施設: 水道

接面街路: 西側幅員約4.4m舗装市道に接面

用途指定等: 第1種住居地域(建ぺい率60%、容積率200%)

地域の概要: 一般住宅、アパート等を中心とする既成住宅地域

### 2 固定資産税価格(令和7年度 公課証明による)

物件1 1,670,375円

物件2 1,564,150円

## 第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写(縮小)
- 4 建物図面・各階平面図写(縮小)
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取図
- 7 現況写真

以上

物件1・2

公示地  
小林一



縮尺 1/10,000

位置図

小林市役所白図

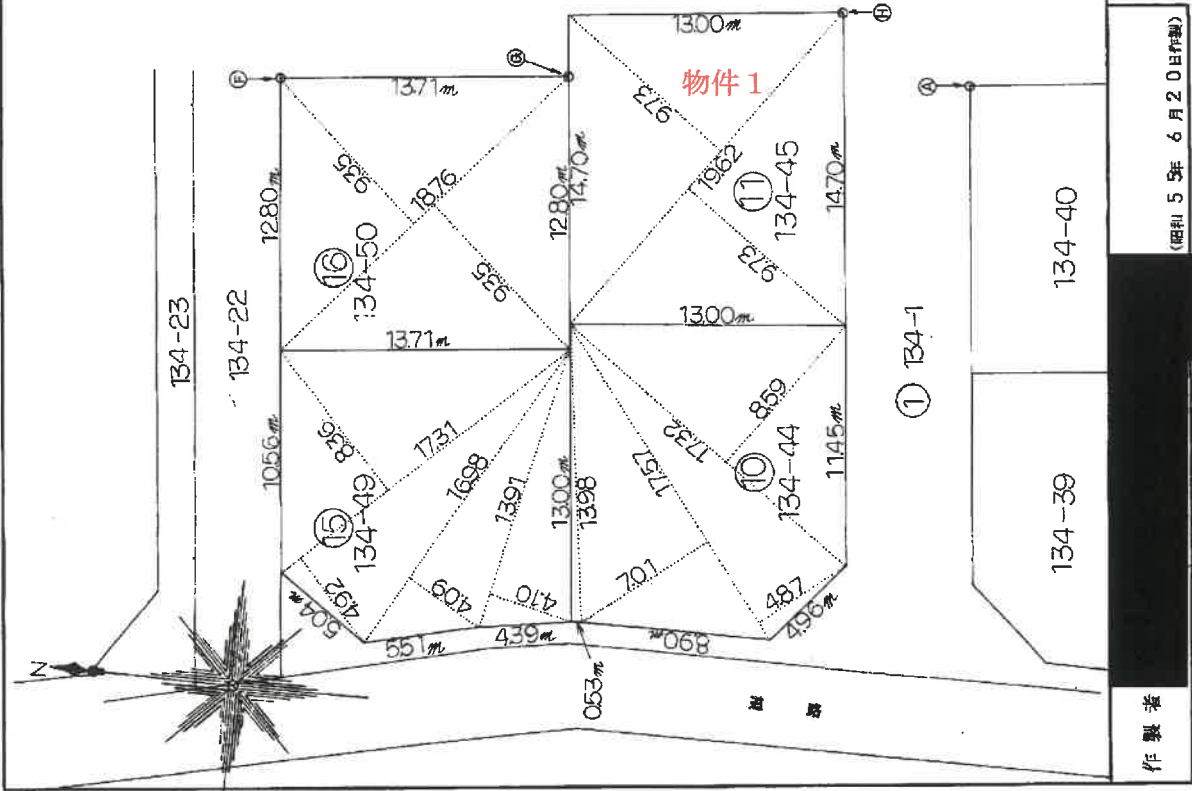


平 昭 年 月 日 登 記

新 地 積 測 量 図 3/8 38

地 番	134-44, 47, 49~54
土地の所在	小林市大字西西方字龍道

126182



境界線略号 S...石井 C...コンクリート杭 P...プラスチック杭 R...鉄線 M...町( )

申請人	[Redacted]
縮尺	1/250

(昭和55年6月20日行製)

(宮崎県土地家屋調査士会議員用紙)

地 積 測 量 図 写

宮崎地方法務局 小林出張所 (原図をA4に縮小)

平 租 年 方 言 登 記

前 後 134-1-36-44  
134-05-134-53

地 積 測 量 図

126180

土地の所在 小林市大字南西方字龍迫

⑪	坪数 19.620 X 19.620 X	9.730 = 9.730 =	190.902600 190.902600	坪数 381.805200	18.760 X 18.760 X	9.350 = 9.350 =	175.406000 175.406000
⑫	坪数 19.620 X 19.620 X	9.730 = 9.730 =	190.902600 190.902600	坪数 381.805200	18.750 X 18.750 X	9.350 = 9.350 =	175.312500 175.312500
⑬	坪数 19.620 X 19.620 X	9.730 = 9.730 =	190.902600 190.902600	坪数 381.805200	18.750 X 18.750 X	9.350 = 9.350 =	175.312500 175.312500
⑭	坪数 18.370 X 18.980 X 18.980 X	5.120 = 4.780 = 9.470 =	94.054400 90.724400 179.740600	坪数 364.519400	18.750 X 18.750 X	9.350 = 9.350 =	175.312500 175.312500
⑮	坪数 17.310 X 17.310 X 16.980 X 13.910 X	8.360 = 4.920 = 4.090 = 4.100 =	144.711600 85.165200 69.448200 57.031000	坪数 356.356000	16.360 X 17.560 X	7.500 = 9.460 = 13.370 =	122.709000 7.525600 234.777200
	坪数 178.178000M <sup>2</sup>	坪数 356.356000	178.178000M <sup>2</sup>	坪数 182.501400M <sup>2</sup>	坪数 350.625000	坪数 182.501400M <sup>2</sup>	坪数 350.625000

境界線号 S...石枕 C...コンクリート枕 P...プラスチック枕 R...金属製 M...埋込( )

申請人

昭和55年 6月20日作製

(宮崎県土地家屋調査士会信用紙)

地 積 測 量 図 写

宮崎地方法務局 小林出張所 (原図をA4に縮小)

(13/16)

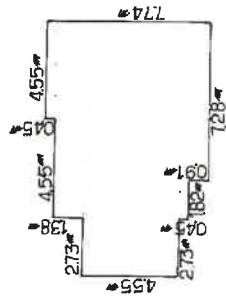
平成57年5月3日登記

各階平面図

建物図面

家屋番号	134番45
建物の所在	小林市大字南西方守熊迫134番地45

512095



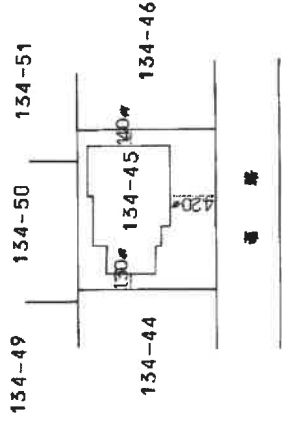
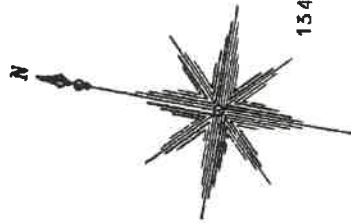
床面積

1 階	4.55 X 0.45 =	2.0475
	9.10 X 1.38 =	12.558
	11.83 X 4.55 =	53.8265
	9.10 X 0.45 =	4.095
	7.28 X 0.91 =	6.6248
	計	79.1518㎡



床面積

2 階	5.46 X 0.91 =	4.9686
	0.91 X 1.38 =	1.2558
	6.37 X 3.64 =	23.1868
	計	29.4112㎡



(昭和57年5月27日作製)

作製者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(宮崎県土地家屋調査士会会員用紙)

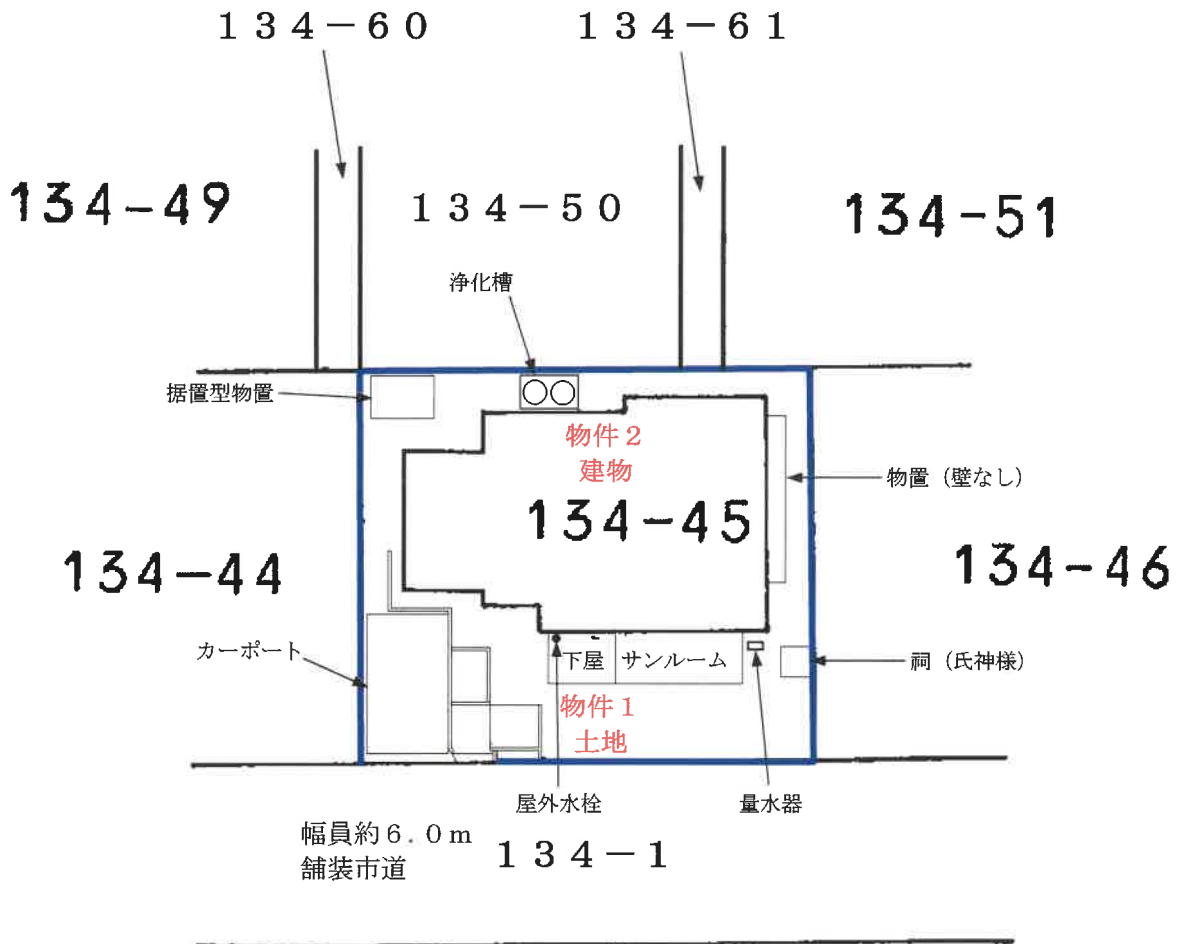
建物図面・各階平面図写

宮崎地方法務局 小林出張所

(原図をA4に縮小)

凡例

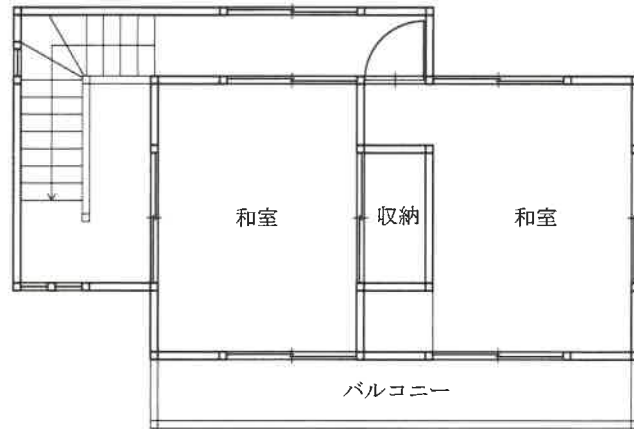
…ブロック等



縮尺：1/250

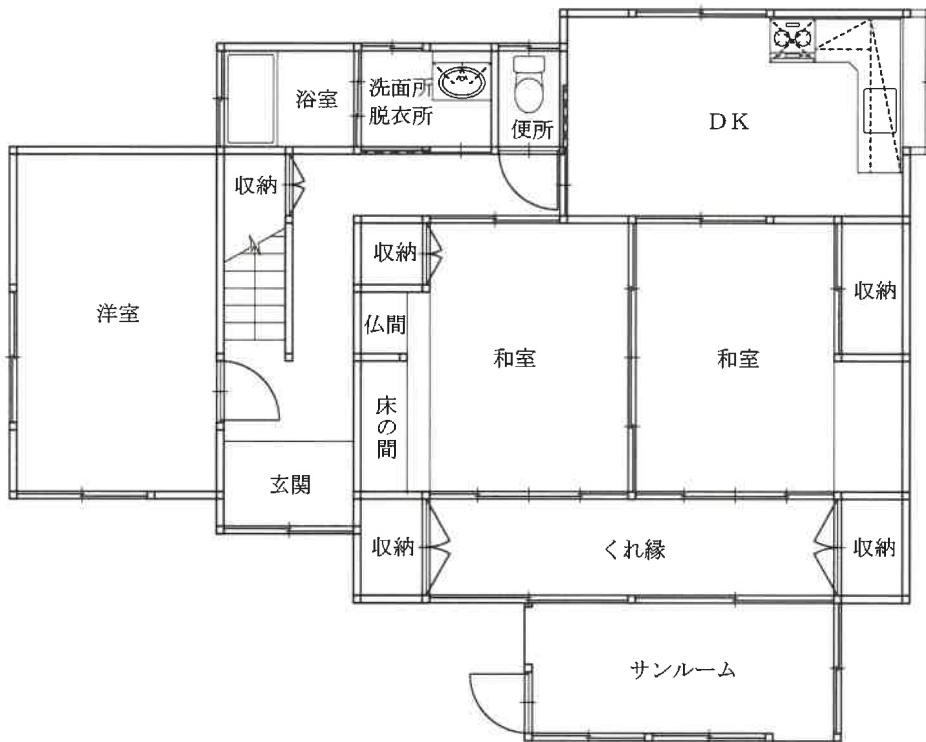
土地建物位置関係図

※本図は、土地・建物等の位置を概略的に示したものであり、境界等を確定するものではない。



2階

物件 2  
建物



1階



縮尺 : 1/100

間取図



南方より撮影



祠（氏神様、工作物）を撮影